

# 長野県 公立高校の入試制度

【2026年度版】

## 選抜概要

- 長野県の公立高校入試（全日制）は、前期選抜と後期選抜の2回あります。2026年は、前期選抜実施 61校、後期選抜実施 77校（全校）です。

	出願期間	志望変更	入試日	合格発表日
前期選抜	2/2(月)～4(水)	－	2/9(月)	2/18(水)
後期選抜	2/25(水)～27(金)	3/2(月)～5(木)	3/10(火)	3/19(木)

- 出願は、原則1校1課程1学科に限ります。  
ただし、くくり募集（2つ以上の学科をまとめて1つの群として行う募集）を実施する学校の場合は、くくられた群への志願とします。
- 入学予定者数が募集定員に満たなかった場合は、再募集を実施します。

## 前期選抜

- 前期選抜は、自己推薦型の選抜です。  
各学校が定めた「生徒募集の観点」に応じて、学校長の推薦が無くても出願可能です。  
全員に学力検査を実施します。

募集人員は以下の通りです。

- ・普通科，農業科，工業科，商業科，家庭科及び総合学科…60%以内
- ・理数科，自然科学探究科，学究科，スポーツ科学科，音楽科，国際教養科，人文科学探究科，国際観光科，自然探究科及び国際探究科…90%以内

### ●選抜資料

- ①調査書…3年分の9科の評定，総合的な学習の時間の記録，特別活動の記録など
- ②面接…「対面による面接」を2/9・10に実施
- ③学力検査…検査Ⅰ(国・社・英)45分，検査Ⅱ(数・理)30分
- ④学校採択の資料…作文または小論文，実技検査のうち学校が定めたもの

- 上記の資料を用い「生徒募集の観点」に配慮のうえ，総合的に判断し合格者を決定します。

## 後期選抜①

- 募集人員は募集定員から前期選抜の募集人員を除いた数とします。  
ただし、前期選抜の合格者が前期定員に満たなかった場合、募集定員から前期選抜の合格者数を除いた数とします。
- 同一校・課程内に2学科（部）以上ある場合は、第2志望を認めることがあります。  
この場合に、第1志望と第2志望が同一の大学学科に属し、当該大学学科に他の小学科があるときは、第3志望まで認めることもあります。

☆全員に面接(対面or紙上)を実施します。

### ●選抜資料

- ①学力検査…国語・数学・社会・理科・英語（各50分・各100点）  
※専門学科において、2教科につき2倍の範囲内で傾斜配点を行うことも可能
- ②調査書…各教科の学習の記録、総合的な学習の時間の記録、特別活動の記録等  
評定は、中学3年の9科（5段階評価）が対象
- ③面接…「対面による面接」または「紙上面接」  
紙上面接は全県共通の面接シートで、学力試験後に一斉に実施する。
- ④学校採択による検査…作文、実技

- 学力検査の成績、調査書等を資料として選抜を行います。面接、作文、実技については、選抜の参考資料とすることができます。

## 後期選抜②

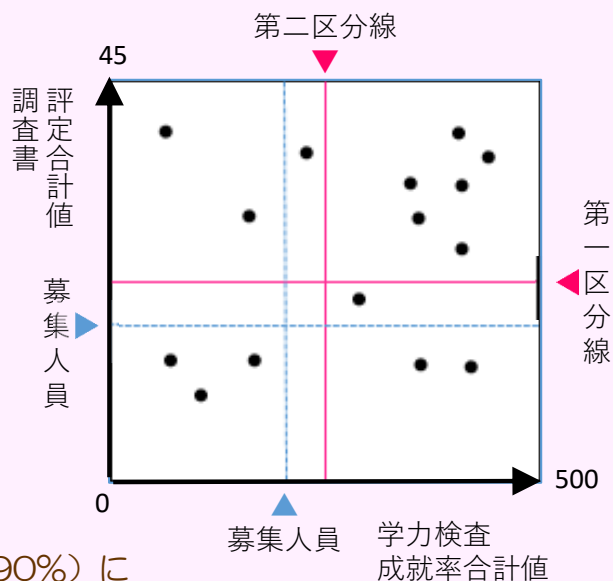
教科の成績については、調査書の評定と学力検査結果の相関図を以下の方法で作成し、調査書の記載事項と併せて選抜資料とします。

- ・調査書に記載されている中学3年次の必修教科の評定合計値（最高45点）を縦軸、学力検査成就率合計値（最高500点）を横軸とする相関図を作成

- ・募集人員を考慮して基準人員を設定

- ・縦軸について基準人員の数に相当するポイントが区分線の上部の区域に含まれるよう第一区分線を設け、横軸について基準人員の数に相当するポイントが区分線の右側の区域に含まれるよう第二区分線を設けることにより4領域に区分

上の図は、学校裁量の基準人員を9人（募集人員の90%）に設定し、受検者15人、募集人員10人の場合を表します。



相関図は、受検者全員について各領域の特性などを十分考慮したうえで選抜の資料とされます。